



月刊
さわやか

第126号

平成29年10月15日

発行：公益社団法人
日野市シルバー
人材センター

日野市日野本町2-4-7
Tel: 042-581-8171



会員数

平成29年8月31日

計 1,674名
男性 1,202名
女性 472名
8月入会者20名
(男10名、女10名)
8月退会者5名
(男3名、女2名)

新しい働き方「派遣事業」

広がる就業機会、積極チャレンジを

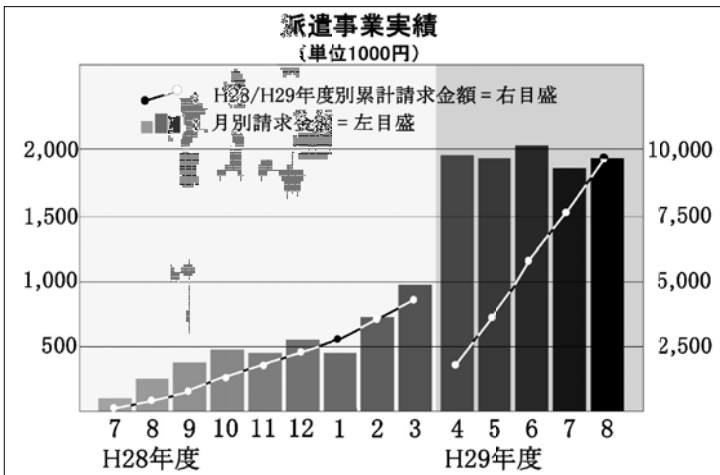
シルバー人材センター（SC）の新しい働き方として注目される「シルバー派遣事業」が日野市SCで昨年7月にスタートしてから1年が過ぎました。順調に推移する一方で、課題なども見えてきたこの事業について、センター事務局の半田隆・就業開拓推進チームリーダー（写真）に聞きました。



事業のこれまでの推移をどう見えていますか。

平成29年9月末現在で都内（町村を除く）49のシルバー人材センターの内34の地区が派遣事業所を設置して事業を実施しております。市部については26市のうち24の地区が実施しており、区部に比べると派遣事業に対する積極性が伺えます。日野市においても新たな

就業機会の拡充を図るために、昨年7月から事業所を開設して本年9月末で15か月が経過いたしました。開設当初、保育補助の



仕事からスタートして28年度の累計額は448万円でした。29年度は4月より従来の請負契約から派遣事業に切り替わったものとともに新たに開拓・受注したものを含め、毎月190万円前後の実績をあげております。

職種などに特色はありませんか。
昨年7月の開設から4か月を経過した11月時点で5事業所に10名の会員が派遣事業に就きました。

当初は0歳児保育、商品発送、惣菜作り、高齢者介護等の職種でしたが、現在は経理事務、商品梱包、製品加工等が増え、平成29年8月の時点で18事業所に33名が就業しています。

請負の「週20時間未満、月10日程度」という就業形態は派遣でも同様ですか。

シルバー人材センターが会員に提供する業務は、「臨時的かつ短期的または軽易な業務」となっています。会員の就業は、現役世代

の労働者などが一人で行う業務を複数の会員が時間や日にちで分担して行う方法（ローテーション就業）が基本となります。会員への就業機会の提供は、この基本に基づき、特定の会員に集中させずに、公平にできる限り多くの会員に提供するような運営を図っています。就業形態は、請負、派遣にかかわらず同様です。

（2面1段へ続く）

リサイクルフェア

10月21日(土)～25日(水)
(9:30から16:30)

リサイクル事務所で開催

(ふれあい橋北側、☎042-581-5960)

日替わりのお買い得品をそろえて、皆様のお越しをお待ちしています！

共働・共助

配分金の支払日

- 10月20日(金)
- 11月20日(月)
- 12月20日(水)
- 1月19日(金)
- 2月20日(火)
- 3月20日(火)

(1面4段から)

今後、事業を進める上でどんな課題がありますか。

派遣事業での就業は、一般の労働者と同様に最低賃金を保障されるものです。最低賃金が引き上げれば、当然のごとく賃金にも反映されます。

派遣先事業所へは、会員に支払う賃金のほかに、東京しごと財団との事務委任契約の事務手数料が加算されたものが派遣料金として請求されます。

事務手数料は、独自に決めることが出来ません。派遣先事業所の負担が少なくなれば、気軽に仕事の依頼があるように期待したいです。

派遣について、会員の皆さんにどんな呼びかけをしたいと思いますか。

派遣先では指揮命令を受けることはあります。しかし、それは契約で決められた仕事に関することだけで、それ以外はありません。適正な就業を確保する上では、ますます派遣による就業が増えることが予想されます。

高齢者が働くことを通じて企業などの人手不足の解消が図れるよう、皆様のチャレンジをお待ちしています。

大船渡市SCC来訪

女性委員会を視察

7月の府中市SCCに続き、9月15日遠来の岩手県大船渡市SCCの山本勝夫常務理事、女性理事と事務局担当職員の合計4名の方々が、女性委員会立ち上げの目的で当SCCを視察・研修に来訪されました。

大船渡市は、水産のまち(特にさんま)で有名な県南部の都市。面積は日野市の10倍以上あります。SCCの女性委員会は未発足で、会議冒頭の両常務理事の挨拶のあと、当事務局からのSCC・女性委員会の活動概略説明に続いて、フリートークの質疑に入り、活発な質問とそれに対する有賀会長・渋谷委員長への丁寧な応答がありました。

女性限定入会案内説明会での就業体験談、円座方式で女性のコミュニケーション能力が高いという特性を意識した運営方法や退会防止への取り組み内容(就業面と会員向け・市民向け講習会と交流の楽しさ等)は、すばらしいと評価をいただきました。

東日本大震災以後の様々な困

難な状況を克服してきた大船渡SCCの皆様、今後のご活躍を期待しています。



説明を受ける大船渡市SCCメンバー

地域班々長の交代

多摩平2班々長の交代がありました。

- ・新班長 〓宮下時雄氏
- ・旧班長 〓藤峰賢宣氏

【訂正】前号別冊のCブロックのブロック長名で誤りがありました。訂正してお詫びします。

- 正 〓宮古和則氏
- 誤 〓今井信一氏

理事会ニュース

★第6回理事会 9月25日

- ・審議事項 〓正会員の入会(30名承認、10月1日入会)
- ・報告事項 〓平成29年度事業実績(4〜8月分) 〓契約金額2億6,619万円(前年度比3.9%減)

「センター行事日程」

- 10月22日(日) 全地域班一斉清掃 〓各地域班
- 10月21日(土) 〓25日(水) リサイクルフェア 〓リサイクル事務所
- 11月9日(木) 女性会員交流会 〓生活・保健センター

「お知らせ」

- ・日野市健康課が監修した「広報ひの」掲載の『健康だより』から、シルバー会員向けの健(検)診情報をも今月号に折り込みました。ぜひご覧ください。

全地域班一斉清掃

10月22日(日)実施

★社会奉仕活動への参加は公益社団法人としてのSCC会員の義務の一つです。—— 地域委員会

会員の増強にご協力を

8月末の会員数は1674名、前年度比で33名の増加です。就業実人員(累計)は、前年度比で9名の増加です。

後半の7カ月は、退会者が入会者より多くなりますので、会員数が前年度より減る可能性があります。会員数を増やす確実な方法の一つは、就業実人員を増やすことにより退会者を減らすことです。現在、就業案内に、多くの募集を掲載しています。積極的な応募により、会員の増強にご協力ください。

女性会員屋外交流会

南極北極科学館見学

女性委員会の企画で、9月26日(火)に交流会が開催されました。参加者は、会員23名、女性委員5名。(ウォーキング指導員の水橋氏、2名の男性を含む)

ここでは、多くの人々に興味を持ってもらえる様、展示に工夫を凝らしています。

- 1. 実物Ⅱ雪上車など
- 2. 触れるⅡ南極の氷、隕石の標



南極に連れて行った犬の彫像と

本など

3. 映像Ⅱ南極のオーロラ、昭和基地からのライブ映像など

南極・北極とも気象、電磁波層、地層、冷たい海流などの現象を観測、分析しています。

南極大陸に降り積もった氷雪を取り出すと、何万年も前の空気、酸素の量、温度などを推測できるそうです。

その他いろいろな情報がいっぱい詰まった科学館でした。

立川北口から歩いて25分、路線バスもあり。入場は無料、電話Ⅱ042-512-0910。その後、昭和記念公園へ向かいました。天候にも恵まれ、皆さん和気あいあい、笑顔の一日でした。

委員会通信

地域委員会

シルバー人材センターは「高年齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献」するための組織です。会員は働くことで収入や仲間を得て、地域社会との繋がりをもちますが地域委員会はその中核を担う地域班の活動を支援します。

具体的には「班会議の活性化」や「清掃や挨拶運動等のボランティアの活性化」のサポートを中心に委員会を運営しています。委員会がいつも頭を抱えている課題は「参加者が少ないな」ということです。勿論、毎回班会議に50%以上が出席する班や、独自のボランティア活動をしている班もあります。全体の出席者は35%前後です。

昨年、地域委員会は班会議で出てきた問題点や質問事項を「よくある質問集」としてまとめ、皆さんに配布しました。その中で班会議やボランティア活動について「参加したら何のメリットがあるのか」「班会議に出席してもマンネリで面白くない」等の意見がありました。

地域委員会としては、マンネリがあっても、班会議やボランティアを「損得」で行うのではなく、日野市SCの動向を知ることや会員交流の場として活用していただくよう、今後とも活動してまいります。

総務委員会

総務委員会はその性格上様々なテーマにチャレンジしています。

H29年3月に報告した「会員アンケートのまとめ」では、多くの会員の皆さまから「会員同士の交流」を望む声をいただきました。そこで当委員会では29年度の重点活動の一つとして、センターから独立した会員による自主組織を目指し、「会員交流推進PT」を立ち上げメンバーを募り、試行として4月から活動を続けてきました。

企画実施した行事は

- ① 4月Ⅱ山菜摘みと花見交流会 9名で実施、
- ② 6月Ⅱサントリービール工場見学と交流会 19名で実施、
- ③ 7月Ⅱブルーベリー摘み&交流会 11名で実施、
- ④ 9月Ⅱ両国国技館土俵祭り&浅草散策 6名で実施。

今後予定する企画は

- ⑤ 多摩地酒SAKE旅&交流会 11月19日(日)
- ⑥ 日野市七福神めぐり 1月上旬。

健康をサポート

「体力測定会」開催

安全管理委員会主催の体力測定会が、市健康課の支援を受け9月13日生活・保健センター3階集会室で実施されました。前回は職場リーダーと職群班長のみ参加でしたが、今回は一般会員対象、37名が参加しました。

握力、棒反応時間、長座体前屈開眼片足立ち、椅子の座り立ちで体力を測定。各人が年齢別の基準と比較した結果で、総合的に評価を受けました。



「棒反応時間」測定の参加会員の方々

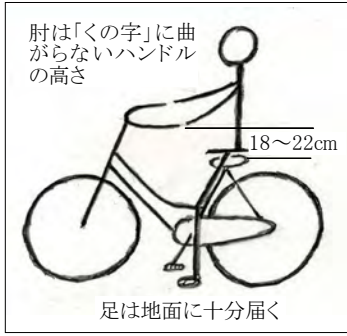
同じ内容の測定会の二回目も21日に行われ、34名が参加。盛況のうちに無事終了しました。

なお、同センター内にある健康サポートルーム「輝(かがやき)」は市民のための健康増進施設で予約不要、無料で利用できます。

安全管理委員会では、参加した会員が経験や結果を職場グループに持ち帰り、「体力測定」への参加や身体能力の改善を勧めてほしい、と期待しています。

自転車事故を無くそう①

9月29日の安全大会で自転車事故防止対策の講演がありました。今後数回にわたりその内容をお知らせします。第1回は、サドルやハンドルの高さ、ハンドルの間隔の適正距離です。



肘は「くの字」に曲がらないハンドルの高さ

18~22cm

足は地面に十分届く

サドルとハンドルの高さ、ハンドルの間隔の適正距離です。

〔平成29年度安全標語優秀作〕
気を付けよ 事故は何時でも やってこい

田村隆道(新町)

当SSC、安全就業で表彰

H28年度実績が対象

9月29日(金)13時半からJR飯田橋駅近くの東京しごとセンターで安全大会が行われ、H28年度の安全就業優良SSCとして他3SSCと共に表彰されました。

出席は有賀会長、宮古安全管理委員長はじめ5名。生田代理が刈払機での事故減少のための取り組み(マニュアル作成や使用許可証発行)等の発表を行いました。



表彰状を受ける有賀会長(右)

市実施の特定健診、いきいき健診は無料で受診できます

★各種がん検診、肝炎ウイルス検診等については市健康課にお問い合わせください。

☎042(581)4111

催しのお知らせ

■晴ればれ健康シニアライフ

日野市SSCと日野市老人クラブ連合会との合同イベントです。

●日時 10月27日(金)10時半～

●会場 1イオンホール(イオンモーター多摩平の森3F)

●内容 11午前の部「コサージュ作り(定員50名)・入会相談」/午後の部「びんしゃんウオーキング(定員100名)」詳しくは「広報ひの」10月1日号に掲載。

■第51回日野市産業まつり

当センターは9年ぶりにこのまつりに出展します。

●日時 11月11日(土)10時～15時、12日(日)9時半～15時

●会場 市民の森ふれあいホールとその周辺

●内容 日野市で最大規模のイベントで、市の産業を消費者らとの交流を通じて市内外に紹介するのが目的。節目の第50回となった昨年は64,000人が来場、約120の参加団体による工業展や農産物即売、ステージイベント等がありました。今回、広報委が展示やチラシ配布等でセンターをPRします。